

平安杯 第67回全九州バレーボール総合選手権大会  
第77回 国体選手選考高校県予選大会

審判上の確認

令和4年4月11日

1. 本大会は、2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
2. チームは監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。選手は、18名まで申し込むことができ、試合毎に14名をエントリーすることができる。但し、13名以上をエントリーする場合のリベロは2名でなければならない。
3. リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
4. リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。2人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。
5. 試合開始前、監督は選手の名前、番号を記録用紙のチーム選手欄に記入するか、記入されたものを確認した後、サインする。（チームキャプテンの番号を丸で囲み、リベロの番号を記入しサインをする。）また、チームキャプテンはチームを代表してトスを行い、トスの開始前と試合終了後にサインをする。
6. 各セットの開始前、監督は、正しく記入されたラインアップシートにサインし、セカンドレフェリーまたはスコアラーに提出する。ラインアップシートが提出されたら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することはできない。
7. セット開始前に行うラインアップシートとスターティングプレーヤーの照合の際は、リベロを確認する必要はない。（リベロはベンチで待機）
8. コート上で円陣を組んで掛け声をかけるケースについては、ラインアップシート確認後は最大限スターティングメンバーの6名とリベロ2名の計8名までとする。
9. タイムアウトを要求できるのは、監督あるいはゲームキャプテンである。その際、ラリー終了後に公式ハンドシグナルで明確に示すこと。
10. チームメンバーによる不法な行為（相手に向かって”ガッツポーズ”などで挑発・威嚇する行為など）に対しては、競技規則第21条「不法な行為とその罰則」に則って罰則を適用する。
11. 判定に対する質問は、ゲームキャプテンのみであるので、監督や他の競技者からの質問は受けつけない。（判定へのアピール等は警告の対象となります。）
12. 試合の前後は、選手全員がエンドラインに整列し、主審の合図で挨拶（握手）する。なお、試合終了後に監督とキャプテンは、審判員にも挨拶（握手）する。
13. 競技中のコートワイピングについては、プレーヤー自身がコートを拭くことを原則とする。（ワイピング用タオルは、チームで余分に準備し、スターティングプレーヤー全員が持つことが望ましい。）
14. 競技中の服装について  
アンダーウェア等について（競技要項P69 抜粋）
  - (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
  - (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険である場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
  - (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。